

外科臨床研修プログラム

I) 到達一般目標

手術を中心とした外科治療の現場を体験する。

外科診療をととしてチーム医療、患者中心の医療の必要性を知る。

II) 研修内容に基づく経験目標

主な対象疾患

消化器：胃癌、結腸癌、直腸癌、小腸悪性腫瘍。

切除可能な食道癌、膵臓癌、原発性および転移性肝癌、胆嚢癌、胆管癌、胆嚢、総胆管結石症、腸閉塞、虫垂炎、内外痔核、痔瘻、その他の腹膜炎、腹腔内膿瘍など

乳腺：乳癌など

呼吸器：自然気胸、切除可能な原発性および転移性肺癌

その他：ソケイヘルニアなど

術前管理、検査

- ① 術前検査、結果の理解と治療（手術）方針の決定
- ② 全麻術前検査結果の理解と危険度の把握、対策
- ③ 乳腺超音波検査への参加（実施）

手術

- ① 清潔下に一定時間立位を保てる精神と体力の養成
- ② 糸結び等、基本手術手技の習得と術中解剖所見の理解

術後管理、検査

- ① 患者の回復を観察して、術後合併症の早期発見と対策

週間予定表

| | 午前 | 午後 |
|----|------------|--------------------|
| 月曜 | 手術もしくは病棟回診 | 手術 |
| 火曜 | 手術もしくは病棟回診 | 手術 |
| 水曜 | 手術もしくは病棟回診 | 13時30分 乳腺外来（超音波検査） |
| 木曜 | 手術もしくは病棟回診 | 手術 |
| 金曜 | 手術もしくは病棟回診 | 手術 17:00 症例検討会 |

Ⅲ) 指導体制

指導責任者 外科部長 中川 登

(日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本救急医学会救急科専門医)

指導医

ハーバーランド健康管理クリニック所長 小黒 厚

(日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医)

消化器外科部長 阪倉 長平

(日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医)

外科(救急)副部長 高 利守

(日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本乳癌学会認定医)

外科医長 西尾 実

外科専攻医 今村 泰輔

施設認定

日本外科学会外科専門医制度修練指定施設：280004

日本消化器外科学会専門医制度修練認定施設：28034

日本乳癌学会認定医・専門医制度修練関連施設：5028-05

関連大学

京都府立医科大学消化器外科

年間手術件数は胃癌約 50 例、大腸癌約 80 例、胆嚢結石約 60 例、急性虫垂炎約 50 例、ソケイヘルニア約 70 例です。研修医は上級医と二人一組で主治医団として患者の治療を担当します。上級医の指導のもと、研修医の先生には可能な限り積極的に手術執刀してもらい、手術手技を習得してもらいます。そして消化器外科を主体とした周術期の全身管理にかかわる手技、知識を習得してもらいます。毎週、水曜の術前術後症例検討会では、担当症例につき、術前診断と手術方針を提示して、討論に参加し、手術方針を決定します。術後症例については、その手術診断と術前診断を比較し、病理組織診の結果もふまえて、問題点を検討し、反省点を消化器内科、放射線科の先生方にフィードバックします。また日常臨床経験を通じて clinical surgical oncologist の養成を目指しております。